厚さ12mm 国産構造用合板張り耐力壁

厚さ12mmの国産構造用合板を使用した耐力壁は
大壁仕様「倍率4.0, 倍率3.8, 倍率3.1」
大壁床勝ち仕様「倍率3.6, 倍率3.2」
受材真壁床勝ち仕様「倍率4.0, 倍率3.6, 倍率3.5」
受材真壁仕様「倍率3.4」の国土交通大臣認定を受けました。

当該耐力壁に使用する主な合板の生産品目

樹種	厚さ	品質			サイズ	
					幅(mm)	長さ(mm)
スギ・カラマツ アカマツ・ヒノキ トドマツ・広葉樹など	12mm	特類	1 級 又は 2 級	F☆☆☆☆	910	1,820　2,430　2,730　3,030
					1,000	2,000　2,430　2,730　3,030

仕様と倍率

仕様No.	耐力壁仕様	主な施工箇所	合板の留め付け方			壁倍率	認定番号
			くぎ	間隔			
				外周	中通り		
仕様①	大壁	外壁	CN65	100mm 以下	200mm 以下	4.0	FRM-0335
仕様②			CN50	75mm 以下		3.8	FRM-0416
仕様③			CN50	100mm 以下		3.1	FRM-0415
仕様④	大壁床勝ち	外壁 又は 間仕切り壁	CN65	100mm 以下		3.6	FRM-0334
仕様⑤			CN50	75mm 以下		3.6	FRM-0414
仕様⑥			CN50	100mm 以下		3.2	FRM-0336
仕様⑦	受材真壁床勝ち	外壁 又は 間仕切り壁	CN65	100mm 以下		4.0	FRM-0339
仕様⑧						3.6	FRM-0483
仕様⑨			CN50	100mm 以下		3.5	FRM-0338
仕様⑩	受材真壁	外壁	CN50	100mm 以下		3.4	FRM-0337

特 長

1 JAS構造用合板を使用した耐力壁は、強度、耐久性、施工性等に優れ、安全・安心・快適な住宅づくりに貢献します。

2 建設省告示の倍率2.5に加え、大臣認定を受けたこれらの合板張り耐力壁により、設計の自由度が広がります。

3 国内で生産された合板は、豊かな森林づくりや二酸化炭素の削減に貢献する、環境に優しい建築資材です。

【遵守事項】

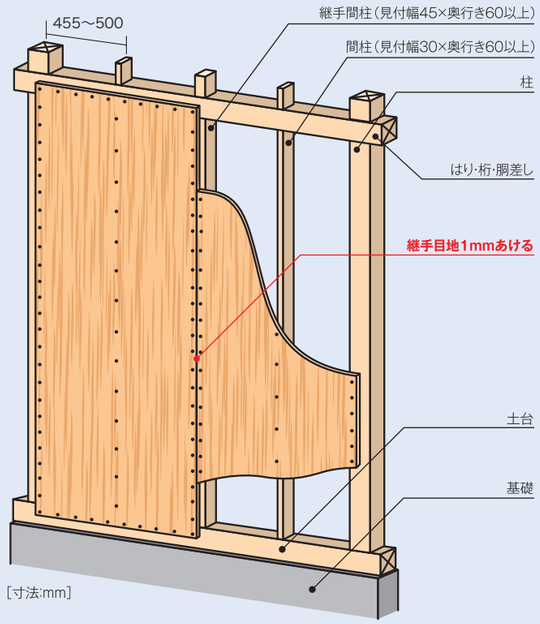
- ●合板は、日本合板工業組合連合会傘下の組合員企業により、JAS規格によって製造され、板面にくぎの種類および間隔が印字されたもの、またはそれらを明記したラベルが貼られたものをご使用下さい。
- ●仕様については、認定書の別添に詳細な施工方法が記載されていますので、必ずご確認の上ご使用下さい。
- ●確認申請時には、認定書のコピーを添付する必要があります。
- ●認定書の別添の閲覧及び認定書のコピーの申請方法は、日本合板工業組合連合会ホームページ（https://www.jpma.jp/）をご覧下さい。

厚さ12mm 国産構造用合板張り耐力壁 大壁仕様

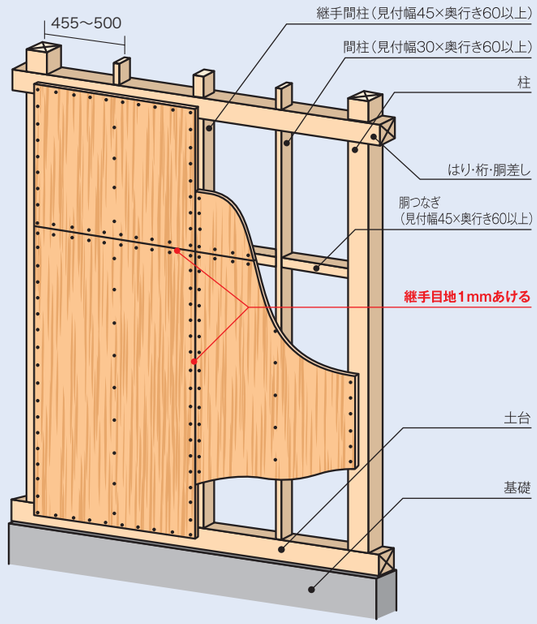
大壁仕様「倍率4.0, 倍率3.8, 倍率3.1」

大壁仕様（外壁の施工図） FRM-0335,FRM-0416,FRM-0415

施工例1 合板を高さ方向に張り継がない場合



施工例2 合板を高さ方向に張り継ぐ場合



（1階の場合）

仕様と倍率

大壁仕様No.	合板の留め付け方				壁倍率	認定番号
	くぎ	間隔		縁端距離		
		外周	中通り			
仕様①	CN65又はCNZ65	100mm 以下	200mm 以下	15mm	4.0	FRM-0335
仕様②	CN50又はCNZ50	75mm 以下		12mm	3.8	FRM-0416
仕様③	CN50又はCNZ50	100mm 以下		12mm	3.1	FRM-0415

［施工方法］

- ●合板は、柱、はり、間柱等に直接張る。
- ●合板は、仕様毎に定められた太め鉄丸くぎCN又はCNZの種類を用い、施工仕様に沿った外周･中通り間隔で留め付ける。
- ●合板を張り継ぐ場合は、高さ方向の目地の裏に胴つなぎ、幅方向の目地の裏に継手間柱を必ず設ける。
- ●合板のかかり代は、柱、はり、胴差し及び桁に50mm以上、継手間柱及び胴つなぎに20mm以上とする。
- ●くぎは、くぎ頭がめり込まないように打ち、縁端距離は、CN65の場合は15mm、CN50の場合は12mmとする。
- ●雨ぬれや湿気による伸び対策のため、合板の継手目地は1mmあける。
- **●柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は、455～500mmとする。**

壁高さの内法寸法

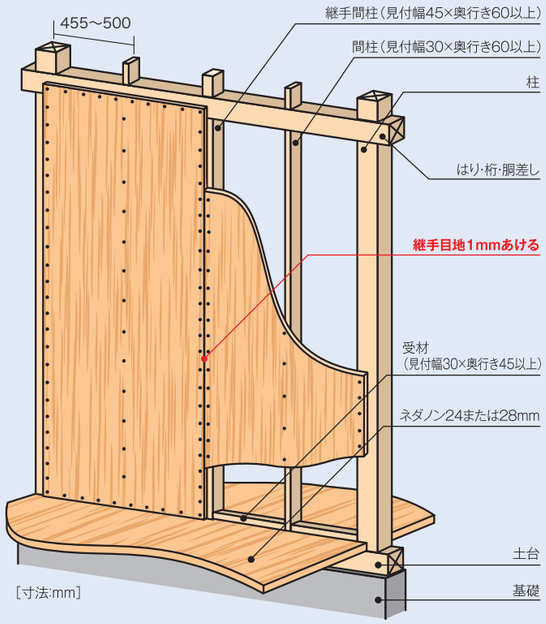
耐力壁仕様	上下の横架材間の内法寸法	
	合板を張り継がない場合	合板を張り継ぐ場合
大壁	1,715～3,075mm（仕様①） 1,800～2,925mm（仕様②） 1,715～2,925mm（仕様③）	1,875～3,075mm（仕様①） 1,875～3,030mm（仕様②,③）

※合板を高さ方向で張り継ぐ場合、下側の合板の長さは1,820mm以上とする。

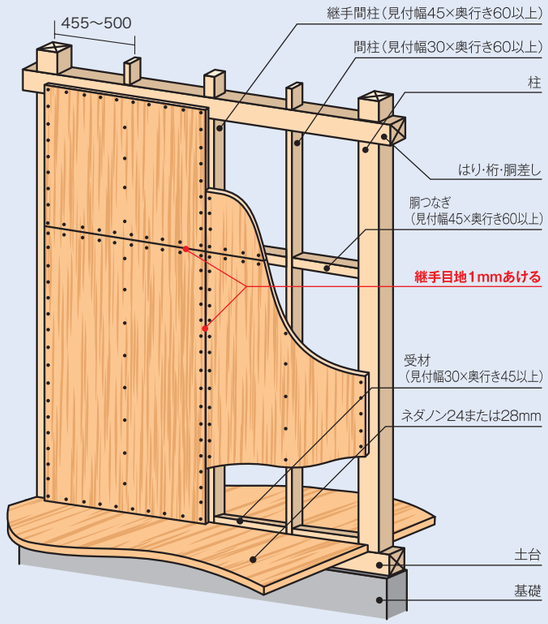
大壁床勝ち仕様「倍率3.6, 倍率3.2」

大壁床勝ち仕様（間仕切り壁の施工図） FRM-0334,FRM-0414,FRM-0336

施工例3 合板を高さ方向に張り継がない場合



施工例4 合板を高さ方向に張り継ぐ場合



（1階の場合。外壁の室内側張りでも使用可能）

仕様と倍率

大壁床勝ち仕様No.	合板の留め付け方				壁倍率	認定番号
	くぎ	間隔		縁端距離		
		外周	中通り			
仕様④	CN65又はCNZ65	100mm 以下	200mm 以下	15mm	3.6	FRM-0334
仕様⑤	CN50又はCNZ50	75mm 以下		12mm	3.6	FRM-0414
仕様⑥	CN50又はCNZ50	100mm 以下		12mm	3.2	FRM-0336

［施工方法］

- ●合板は、柱、はり、受材、間柱等に直接張る。
- ●合板は、仕様毎に定められた太め鉄丸くぎCN又はCNZの種類を用い、施工仕様に沿った外周･中通り間隔で留め付ける。
- ●合板を張り継ぐ場合は、高さ方向の目地の裏に胴つなぎ、幅方向の目地の裏に継手間柱を必ず設ける。
- ●雨ぬれや湿気による伸び対策のため、合板の継手目地は1mmあける。
- ●合板のかかり代は、柱、はり、胴差し及び桁に50mm以上、受材に30mm以上、継手間柱及び胴つなぎに20mm以上とする。
- ●くぎは、くぎ頭がめり込まないように打ち、縁端距離は、CN65の場合は15mm、CN50の場合は12mmとする。
- ●受材は、鉄丸くぎN75または太め鉄丸くぎCN75で、200mm以下の間隔で留め付ける。
- ●床下地板は、厚さ24mmまたは28mmの構造用合板（ネダノン）直張りとし、くぎN75またはCN75で、150mm以下の間隔で横架材に打ち付ける。
- **●柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は、455～500mmとする。**

壁高さの内法寸法

耐力壁仕様	上下の横架材間の内法寸法	
	合板を張り継がない場合	合板を張り継ぐ場合
大壁床勝ち	1,800～3,075mm（仕様④,⑥） 1,885～2,925mm（仕様⑤）	1,960～3,075mm（仕様④,⑥） 1,960～3,030mm（仕様⑤）

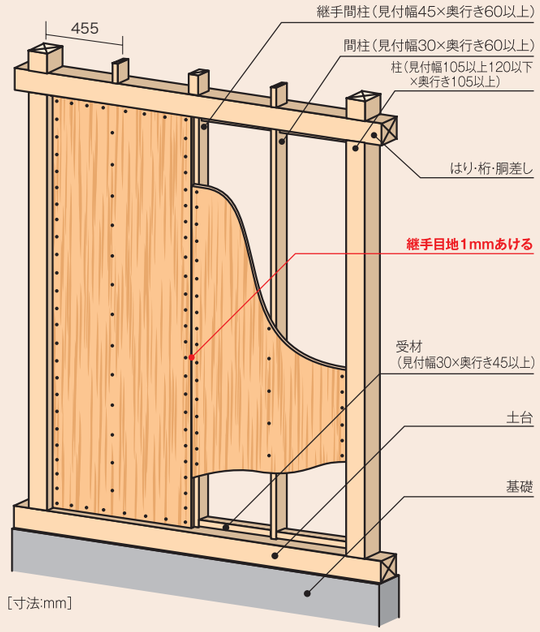
※合板を高さ方向で張り継ぐ場合、下側の合板の長さは1,820mm以上とする。

厚さ12mm 国産構造用合板張り耐力壁 受材真壁仕様

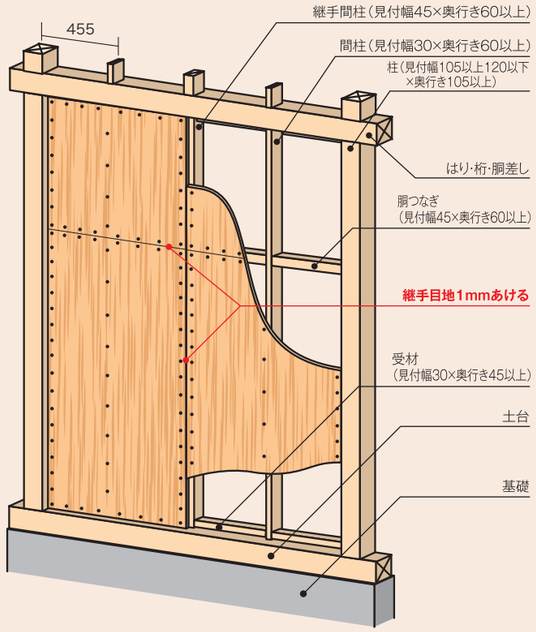
受材真壁仕様「倍率3.4」

受材真壁（外壁の施工図） FRM-0337

施工例5 合板を高さ方向に張り継がない場合



施工例6 合板を高さ方向に張り継ぐ場合



（1階の場合）

仕様と倍率

受材真壁仕様No.	合板の留め付け方			受材の留め付け方		壁倍率	認定番号
	くぎ	間隔	縁端距離	くぎ	間隔		
仕様⑩	CN50又はCNZ50	外周100mm 以下 中通り200mm 以下	12mm	N75又はCN75	200mm 以下	3.4	FRM-0337

［施工方法］

- ●合板は、太め鉄丸くぎCN50又はCNZ50を用い、外周100mm以下、中通り200mm以下の間隔で留め付ける。
- ●合板を張り継ぐ場合は、高さ方向の目地の裏に胴つなぎ、幅方向の目地の裏に継手間柱を必ず設ける。
- ●雨ぬれや湿気による伸び対策のため、合板の継手目地は1mmあける。
- ●合板のかかり代は、受材に30mm以上、継手間柱及び胴つなぎに20mm以上とする。
- ●くぎは、くぎ頭がめり込まないように打ち、縁端距離は12mmとする。
- ●受材は、鉄丸くぎN75または太め鉄丸くぎCN75で、200mm以下の間隔で留め付ける。
- **●柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は、455mmとする。**

壁高さの内法寸法

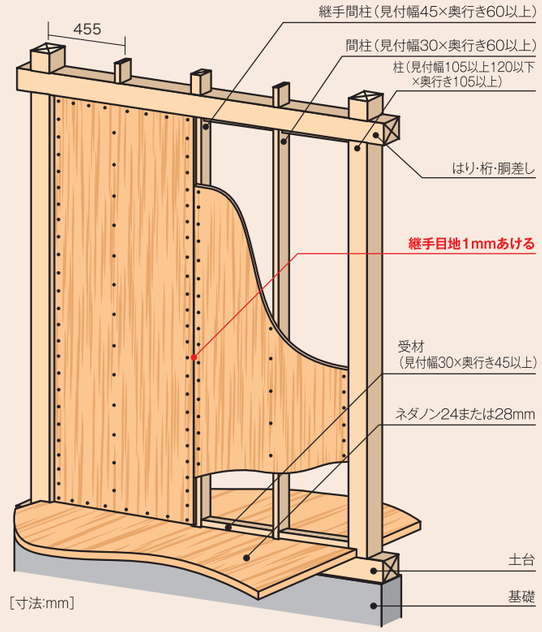
耐力壁仕様	上下の横架材間の内法寸法	
	合板を張り継がない場合	合板を張り継ぐ場合
受材真壁	1,820～3,030mm（施工例5）	1,980～3,030mm（施工例6）

※合板を高さ方向で張り継ぐ場合、下側の合板の長さは1,820mm以上とする。

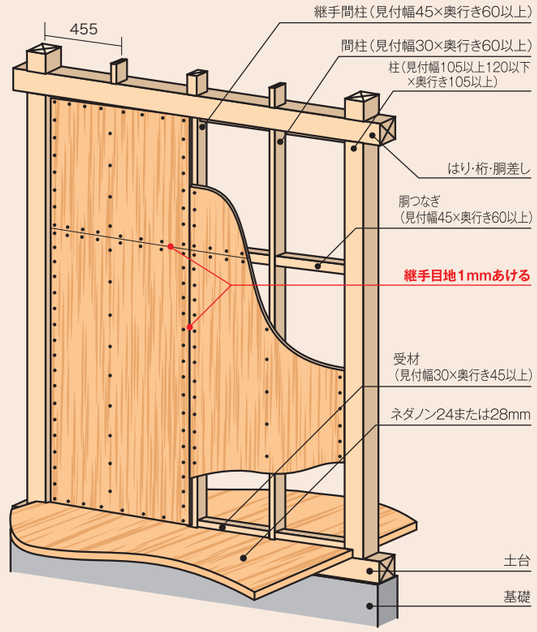
受材真壁床勝ち仕様「倍率4.0，倍率3.5」

受材真壁床勝ち（間仕切り壁の施工図） FRM-0339,FRM-0338

施工例7 合板を高さ方向に張り継がない場合



施工例8 合板を高さ方向に張り継ぐ場合



（1階の場合。外壁の室内側張りでも使用可能）

仕様と倍率

受材真壁床勝ち仕様No.	合板の留め付け方			受材の留め付け方		壁倍率	認定番号
	くぎ	間隔	縁端距離	くぎ	間隔		
仕様⑦	CN65又はCNZ65	外周100mm 以下 中通り200mm 以下	15mm	N75又はCN75	200mm 以下	4.0	FRM-0339
仕様⑨	CN50又はCNZ50		12mm			3.5	FRM-0338

［施工方法］

- ●合板は、仕様毎に定められた太め鉄丸くぎCN又はCNZの種類を用い、外周100mm以下、中通り200mm以下の間隔で留め付ける。
- ●合板を張り継ぐ場合は、高さ方向の目地の裏に胴つなぎ、幅方向の目地の裏に継手間柱を必ず設ける。
- ●雨ぬれや湿気による伸び対策のため、合板の継手目地は1mmあける。
- ●合板のかかり代は、受材に30mm以上、継手間柱及び胴つなぎに20mm以上とする。
- ●くぎは、くぎ頭がめり込まないように打ち、縁端距離は、CN65の場合は15mm、CN50の場合は12mmとする。
- ●受材は、鉄丸くぎN75または太め鉄丸くぎCN75で、200mm以下の間隔で留め付ける。
- ●床下地板は、厚さ24mmまたは28mmの構造用合板（ネダノン）直張りとし、くぎN75またはCN75で、150mm以下の間隔で横架材に打ち付ける。
- **●柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は、455mmとする。**

壁高さの内法寸法

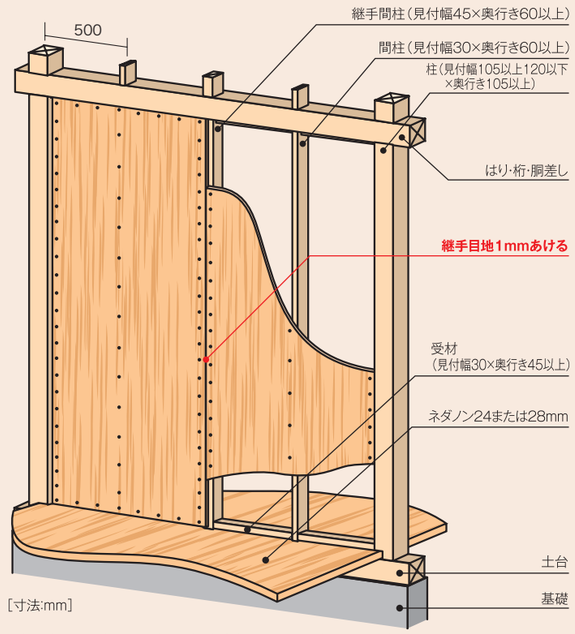
耐力壁仕様	上下の横架材間の内法寸法	
	合板を張り継がない場合	合板を張り継ぐ場合
受材真壁床勝ち	1,850～3,030mm（施工例7）	2,010～3,030mm（施工例8）

※合板を高さ方向で張り継ぐ場合、下側の合板の長さは1,820mm以上とする。

受材真壁床勝ち仕様（柱間隔1000㎜）「倍率3.6」

受材真壁床勝ち（間仕切り壁の施工図） FRM-0483

施工例9 合板を高さ方向に張り継がない



（1階の場合。外壁の室内側張りでも使用可能）

仕様と倍率

受材真壁仕様No.	合板の留め付け方			受材の留め付け方		壁倍率	認定番号
	くぎ	間隔	縁端距離	くぎ	間隔		
仕様⑧	CN65 又は CNZ65	外周100mm 以下 中通り200mm 以下	15mm	N75	200mm 以下	3.6	FRM-0483

［施工方法］

●本仕様は、合板を高さ方向に張り継ぐことは出来ない。
●合板は、仕様毎に定められた太め鉄丸くぎCN65又はCNZ65を用い、外周100mm以下、中通り200mm以下の間隔で留め付ける。
●雨ぬれや湿気による伸び対策のため、合板の継手目地は1mmあける。
●合板のかかり代は、受材に30mm以上、継手間柱に20mm以上とする。
●くぎは、くぎ頭がめり込まないように打ち、縁端距離は15mmとする。
●受材は、鉄丸くぎN75で、200mm以下の間隔で留め付ける。
●床下地板は、厚さ24mmまたは28mmの構造用合板（ネダノン）直張りとし、くぎN75またはCN75で、150mm以下の間隔で横架材に打ち付ける。
●柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は、500mmとする。

壁高さの内法寸法

耐力壁仕様	上下の横架材間の内法寸法	
	合板を張り継がない場合	合板を張り継ぐ場合
受材真壁床勝ち	2,035~3,030mm（施工例9）	不可

耐震補強壁

これらの国土交通大臣認定の耐力壁は、耐震補強用の壁にご使用いただけます。

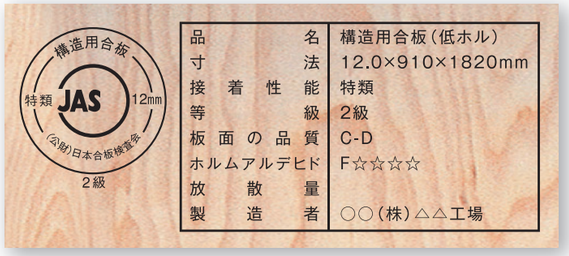
告示 1100 号の耐力壁及びこれら大臣認定の耐力壁は、耐震補強壁として使用が可能です。そのほかに、耐震補強専用の壁として、FRM-0335、FRM-0339 をベースにした仕様を含む18 仕様について（一財）日本建築防災協会の評価を取得しています。
詳しくは、「耐震補強用合板耐力壁マニュアル」をご覧ください。

12mm構造用合板張り大臣認定耐力壁の壁基準耐力と壁基準剛性

仕様	くぎ種類	くぎ間隔（mm）		倍率	壁基準耐力（kN/m）	壁基準剛性（kN/rad/m）	認定番号
		外周	中通り				
大壁	CN65	100 以下	200 以下	4.0	7.8 *	1480 *	FRM-0335
	CN50	75 以下		3.8	7.4	1500	FRM-0416
	CN50	100 以下		3.1	6.1	1220	FRM-0415
大壁床勝ち	CN65	100 以下		3.6	7.1	1410	FRM-0334
	CN50	75 以下		3.6	7.1	1510	FRM-0414
	CN50	100 以下		3.2	6.3	1390	FRM-0336
受材真壁床勝ち	CN65	100 以下		4.0	7.8 *	1320 *	FRM-0339
	CN65	100 以下		3.6	7.1	1240	FRM-0483
	CN50	100 以下		3.5	6.9	1350	FRM-0338
受材真壁	CN50	100 以下		3.4	6.7	1290	FRM-0337

壁基準耐力は、倍率×1.96で計算
壁基準剛性は、評価書の1/200rad時の信頼水準75%の50%下限値より計算（低減係数なし）
＊の値については（一財）日本建築防災協会より評価を取得している

JASマーク



くぎの種類および間隔の印字例

＊国土交通大臣認定品のくぎの種類および間隔の印字がある厚さ12mm構造用合板も、
告示1100号の仕様の耐力壁にご使用いただけます。

告示仕様と倍率

仕様	合板の留め付け方		壁倍率
	くぎ	間隔	
大壁仕様	N50	150mm 以下	2.5
受材真壁仕様			2.5
貫真壁仕様			1.5

構造用合板製造者一覧

社名		所在地	TEL	FAX
＊丸玉木材株式会社		〒092-0203 北海道網走郡津別町字達美 162 番地 http://www.marutama-ind.com/	0152-75-5061	0152-75-5065
ホクヨープライウッド株式会社	(本社)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5 合板ビル	03-3816-3041	03-3817-0425
	(宮古工場)	〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏 2-3-1 https://www.hokuyo-group.co.jp/	0193-62-3333	0193-63-3664
北上プライウッド株式会社		〒024-0335 岩手県北上市和賀町後藤 2 地割 112 番 1 http://kitakamipw.co.jp/	0197-73-5500	0197-73-5505
＊石巻合板工業株式会社	(本社)	〒986-0842 宮城県石巻市潮見町 4-3 http://www.ishinomaki.co.jp/	0225-96-3315	0225-96-3116
	(東京営業所)	〒111-0053 東京都台東区浅草橋 5-13-6 三朋ビル	03-5829-6691	03-5823-1215
＊セイホク株式会社	(本社)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5 合板ビル	03-3816-1037	03-3814-1625
	(総合事務所)	〒986-0844 宮城県石巻市重吉町1- 7 http://www.seihoku.gr.jp/	0225-22-6511	0225-95-5867
西北プライウッド株式会社	(本社)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5 合板ビル	03-3816-1037	03-3814-1625
	(総合事務所)	〒986-0844 宮城県石巻市重吉町1- 7 http://www.seihoku.gr.jp/	0225-22-6511	0225-95-5867
秋田プライウッド株式会社	(本社)	〒010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反 232 https://www.aplywood.co.jp/	018-823-8511	018-862-1513
	(東京事務所)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5 合板ビル	03-3818-1935	03-3817-0425
新秋木工業株式会社	(本社)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5 合板ビル	03-3814-1621	03-3817-0425
	(秋田工場)	〒010-1601 秋田県秋田市向浜 1-8-2 https://www.s-akimoku.co.jp	018-823-7265	018-864-8397
株式会社キーテック	(本社)	〒136-0082 東京都江東区新木場 1-7-22 http://www.key-tec.co.jp/	03-5534-3741	03-5534-3750
	(山梨工場)	〒409-2522 山梨県南巨摩郡身延町下山 11371 番地	0556-64-8223	0556-64-8224
新潟合板振興株式会社		〒950-0886 新潟県新潟市東区中木戸 401 http://www.oshika.co.jp/niigatagohan/	025-274-2291	025-274-2295
森の合板協同組合		〒508-0421 岐阜県中津川市加子母 5371 番地 17 http://www.morinogohan.com/	0573-79-5120	0573-79-5121
松江エヌエル工業株式会社	(本社)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5 合板ビル	03-3818-1935	03-3817-0425
	(松江工場)	〒690-1401 島根県松江市八束町江島 1376-2 http://www.matsue-nl.co.jp	0852-76-3730	0852-76-3900
新栄合板工業株式会社	(本社)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5 合板ビル https://www.shin-ei-style.co.jp	03-3816-2548	03-3817-0425
	(水俣工場)	〒867-0034 熊本県水俣市袋赤岸海 50	0966-63-2141	0966-63-2145
	(大分工場)	〒879-4401 大分県玖珠郡玖珠町四日市 848-32	0973-77-2112	0973-77-2113

＊3×6(910×1,820mm)サイズは全てのメーカーで生産しています。
3×8(910×2,430mm)以上の長尺サイズは＊で表示したのメーカーのみ生産可能です。